

主催：ワークライフ支援室（男女共同参画推進室）



福山大学 男女共同参画推進事業

## 女性エンジニアのチカラ —仕事と生活の調和—

2016年7月25日(月) 16:20~17:45

福山大学大学会館 CLAFT

講師：岡田 吉弘氏

平和建設株式会社（広島県福山市）  
代表取締役

福山大学は、男性も女性も学びやすく働きやすい環境作りと男女共同参画を推進しています。ポジティブアクション宣言、ワークライフ支援室の開設等、男女共同参画推進の枠組みは徐々に整いつつあります。

本年度第一回のセミナーは、岡田吉弘氏をお招きします。

平和建設は、独自の「インテグリティ基準」を設けています。基本方針である従業員のワークライフバランスや顧客満足度の向上等の取り組みについてご紹介していただきます。

\*高い倫理観を持ち、誠実に行動するという点を強調した誠実性の意

問合せ先：ワークライフ支援室（男女共同参画推進室） [worklife@fuhc.fukuyama-u.ac.jp](mailto:worklife@fuhc.fukuyama-u.ac.jp)

## 女性エンジニアのチカラ～仕事と生活の調和～

平和建設（株） 代表取締役社長 岡田吉弘 氏

福山大学は、男性も女性も学びやすく働きやすい環境作りと男女共同参画を推進しており、その活動の一環として、7月25日(月)にセミナーを開催しました。今回のセミナーには、講師として平和建設（株） 代表取締役社長 岡田吉弘氏をお招きし、「女性エンジニアのチカラ～仕事と生活の調和～」でご講演いただきました。



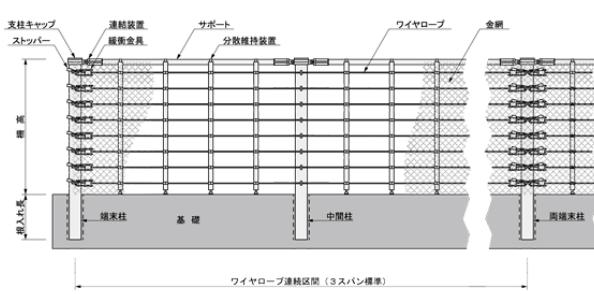
平和建設（株）代表取締役社長 岡田吉弘氏



クラフトでおこなわれたセミナー会場の様子

平和建設（株）は、「**広島県仕事と家庭の両立支援企業**」に登録されており、また、福山市の「**ふくやまワークライフバランス認定**」も受けている企業です。建設会社という女性が活躍する場所としては少し縁遠く感じる企業において、岡田氏が男女共同参画を積極的に推進されてきた経緯や会社にとってどのような必要性があるかをご講演くださいました。

岡田氏が、女性が働きやすい環境づくりに取り組むことになった切っ掛けは、本学工学部を卒業して平和建設（株）で**活躍していた女性技術者**が、結婚を機に退職したことだったそうです。「**無意識の偏見**」により男性の職場と考えていた職場において



[http://www.toesu.co.jp/products/falling\\_rocks/img/PCF.jpg](http://www.toesu.co.jp/products/falling_rocks/img/PCF.jpg)

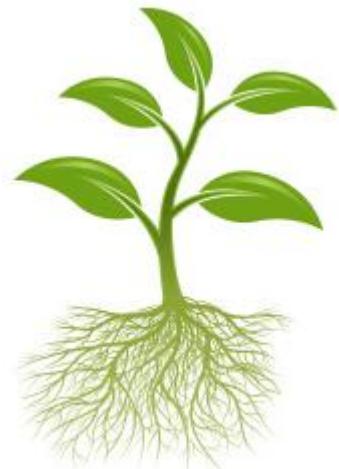


[http://takahara-wood.com/tashizen-koho/images/saku\\_image3.jpg](http://takahara-wood.com/tashizen-koho/images/saku_image3.jpg)

柵工法と柵工法により整備された護岸

も女性の視点を取り入れることが、会社の新たな強みにつながり、創業200年を目指す平和建設（株）にとって欠かせないものであることに、女性技術者の退職により気づかれたとのことでした。河川の氾濫をくい止めるために強固な護岸が整備されますが、柵（しがらみ）工法を取り入れることで、護岸の強度を高めることができます。会社を強くするためには、柵工法で整備した護岸と同じように、多様な人材の存在が必要であるとのお考えをお話しさされました。

会社の土台となる人材育成には、農業的経営の感覚を基盤にされているそうです。しっかりと根をはった植物が風雨に耐えることができるよう、人材の育成も同じで、芽を出すために、地上からは見えないけれども地下では根を張る努力をしていることを評価して、じっくりと時間をかけて待つことの大切さを述べられました。また、女性技術者の育成には、個々の奮闘に期待するだけでなく、女性技術者を継続的に雇用し、女性技術者同士が支えあうことのできるチームを育んでいくことを検討されているそうです。



平和建設（株）において独自に設けられている「インテグリティ基準」（高い倫理観を持ち、誠実さを最優先して、社会的責任の遂行と企業倫理の実践を目指す）が、男女共同参画推進を推し進めていく環境に繋がっているかもしれません。

\*

この度の講演会には、教員の他にも工学部や薬学部の学生の参加があり盛況でした。講演後の質疑応答で、工学部の男子学生やびんご建築女子に参加している女子学生から質問や感想についての発言がありましたが、出席した学生たちに深い感銘を与えた講演会になりました。



講演の感想ののべる女子学生



講演者に質問している工学部の男子学生

今回のセミナーは盛会でしたが、クラフトはまだ十分に席に余裕がありました。本学のワークライフバランスを考え、働きやすい職場環境していくためにも、もっと多くの教職員のみなさんに参加いただきたい講演でした。